

公益社団法人埼玉県理学療法士会
令和3年度第1回拡大理事会議事録

1. 開催日時：令和3年5月18日（火）19：00～21：08

2. 会 場：インターネット会議

3. 理事現在数及び定足数

理事現在数 17名 定足数 9名

4. 出席理事数 17名

出席理事： 南本浩之、岡持利亘、水田宗達、田口孝行、原田慎一、本宮光信、茄子川知浩
矢野秀典、赤坂清和、三宮将一、阿久澤直樹、櫻場勝、吉川貴矩、高宮尚之
田澤俊亮、乙戸崇寛、渡邊賢治

欠席理事： なし

5. 監事現在数及び出席監事氏名

監事現在数 2名

出席監事：前園徹、清宮清美

6. 出席部長・エリア長・委員長

知久逸平、塚田陽一、鈴木昭広、渡邊孝広、中島智博、柳田千絵、馬場裕之、前園佑貴、菅野岳
遠藤浩士、荒木心太、木勢峰之、西尾尚倫、石井貴朗、村田佳太、佐々木洋平、倉林泰士郎
飯塚浩二、原和帆、長島秀幸、米澤隆介、宇野潤、吉田佑貴、飛田英樹、大沼貴広、田方逸郎
斉藤尊大、山田義憲、万行里佳、中野克己、大隈統、石動恭平、菊地裕美

7. 出席部員

三輪麻里加、笹野雄士、野口雄平（書記）

8. 議長の氏名

南本浩之

9. 議 題

<計画内審議>

○令和2年度事業報告・決算報告・監査報告について

<計画外審議>

○第30回埼玉県理学療法学会参加費について

<報告事項>

○【事業局】LINEWORKS 審議について

○【事業局】研修会中止規定について

<その他事項>

○【田口副会長】新人教育プログラムについて

10. 理事会の議事の経過の要領及びその結果

(1) 定足数の確認等

冒頭で本理事会はインターネット会議のため出席者の通信状況を確認し問題なく進行できることが確認された。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

<計画内審議>

令和2年度事業報告・決算報告・監査報告について議長の求めに応じ各理事・部長等から資料に基づき説明があった。

事務局

総務部（知久）：今年度の活動として、公文書の確認・法人登記・事務局会議の開催・県補助金申請書、決算書作成・県庁の電子申請業務を行った。

庶務部（塚田）：理事会運営などを行った。代表者会議は例年通り各ブロックで行わず、コロナ感染症の情報共有を2回行った。

総会運慶部（鈴木）：今年度の総会は6月20日に開催予定。Wedを利用したもので準備を行っている。今回新しく総会HPを作成している。理事の方には動画作成などを行って頂いている。本日は2点ほどお願いがある。総会当日の参加方法についてアンケート回答が5月31日までの期限になっているため、回答をお願いしたい。2点目は議決権の行使について、現段階で1024名。20%弱の登録率のため、職場スタッフへの声掛けをお願いしたい。

管財資料部（渡邊）：事務室内の整理や議事録等の保管・廃棄を行った。昨年度から備品管理も行っている。部局やエリアからの報告で備品管理している物品が挙がってきている。まだ報告が済んでいない部署は報告をお願いしたい。

厚生部（中島）：イベントの企画を行っていたが、全て中止になっている。団体保険に関しては、継続して加入している。託児所の準備はあるが、昨年度利用はない。

労務管理部（代読水田）：事務委員の雇用について管理。今年度新規事務員の採用をしているのでその準備を行っている。

財務局

出納部（柳田）：例年通り各部局への事業費・運営費の支払い・清算・会計報告を行っている。昨年度は対面での日当金の支払いが行えずご迷惑をおかけしています。再度整理を行いながら対応をする。今年の4月中に各部局への予算の配布したので確認をお願いしたい。

会費管理部（代読本宮）：例年通り。未納退会者は45名で昨年と比べて減少傾向である。引き続き未納退会者数を減らしていければと思う。

財務渉外部（馬場）：例年同様に賛助会員に関する業務・税務に関する業務・インターネット広告料の請求を行っている。

事業局

他団体での共同で行う事業を中心に事業計画を立案していたが、コロナ感染症の影響で事業のほとんどが中止やオンラインに切り替えて行っている。

高齢者福祉部（代読茄子川）：部長が変更になっている。大きく変わった点として、生活期リハビリテーション研修会（介護福祉士対象）では、通所介護などで利用できる資料配布を行っている。生活期リハビリテーション研修会（ケアマネ対象）オンラインで実施している。彩の国リハビリテーション事業フェスタの代替えとしてオンライントークを中高生対象に行っている。失語症者向け意思疎通支援事業は、感染対策を行ったうえで講義と実技を行っている。

小児福祉部（代読茄子川）：事業計画していたものはほとんどが中止になっている。発達障害者研修は、動画の限定配信を行っている。通園施設職員のための研修会は、コロナ渦で苦勞していることについてのアンケート調査を実施。

健康増進部（菅野）：介護保険サービス事業所支援講座・一般公開講座に関してはリーフレットを作成して配布している理学療法フェスタ・若年性認知症スポーツフェスタはコロナ感染症のため中止になっている。

スポーツリハビリ推進部（遠藤）：企画していた事業はすべて中止。技術研修会はWed内で1回実施している。今年度は感染症などを配慮しながら支援事業を行っていきたい。

学術局

理学療法編集部（代読矢野）：例年通り行っている。投稿論文は16件あった。

研究推進部（荒木）：部長が変更になっている。昨年度はオンラインをメインに実施している。研究補助金事業と賛助会員との共同研究事業を行っている。研究補助金事業に関しては9題あり、7題が対象研修になっている。賛助会員の共同研究に関しては主にオンラインで行っている。

賛助会員の共同研究に関しては昨年度で終了になっており、今年度からは研究推進部独自の研究に変更になっている。

教育局

認定・専門研修部（木勢）：総会の資料に関しては第6回でなく全7回実施している。全ての事業はオンラインで実施している。来年度も実施予定。理学療法士講習会の取りまとめとして、助成金なし事業が2本申請あった。県土会として提出して認定されている。運営会議に関してはオンラインで実施している。

新人教育部（代読赤坂）：部長が変更になっている。新人研修会は全て中止になっており、協会のeラーニングを推奨した。

臨床実習教育部（代読赤坂）：養成校の教員が集まり、運営方法などの会議を実施している。また、ファシリテーター研修をオンラインで4回実施している。

指定管理者研究部（西尾）：昨年度はオンラインにて例年通り行っている。今年度も引き続き行っていく。

広報局

広報誌編集部（石井）：昨年は広報誌の発行を例年は2部おこなっていたが、今年度は合併号として1部のみになっている。リーフレットのデザインは検討させて頂き、配布時期になったら発行をさせて頂ければと思っている。広報誌・リーフレットの作成の為に21回会議を行っている。新型コロナウイルス感染症の影響で事業への広報誌の発行は行っていない。

インターネット管理部（村田）：新型コロナウイルスの影響もあり、HPの利用が前年度と比べて20200回と減少し、ユーザー数が5972名減少している。講習会専門のWedサイト作成し、皆様の意見を取り組みながら最終調節が完了して現在はシステムの運用を行っている。新講習会Wedサイトの講習会の投稿数が少ないため、新旧サイトを両方運営している状況です。新講習会Wedサイトの投稿数が増えてきたらサイトの一本化を行っていく予定です。それにもない理事の方へ権限を付与してIDの発行やマニュアル化が課題となっている。

理学療法週間推進部（代読原田）：令和2年度は中止になっている。令和3年度の開催に向けて会議を3回行っている。

職能局

業務推進部（阿久澤）：部長が変更になっている。ダイハツとの共同事業に関しては、新型コロナウイルスの影響もあり事業が中止になっている。今年度は調整中である。地域リハ相談窓口体制の構築促進に関しては、今年度以降は地域の悩みに対応できる理学療法士を構築するような会議や研修を企画していきたい。

医療保険部（代読阿久澤）：オンラインにて例年通り行えている。オンライン研修でも参加人数が少ないため、講師の方にご理解を頂いてアーカイブ配信も行っている。

介護保険部（佐々木）：厚生労働省から人道的取り扱いなどの説明があったため、2回情報共有などのためにオンラインで会議を行っている。4月に介護保険の改定があり、介護保険に対する制度の研修会をオンラインで行っている。介護保険の勉強会に関してはオンデマンド配信を行っている。

地域包括ケア推進部（倉林）：地域ケア会議と介護予防の研修会を前期・後期2回ずつ行っている。ブラッシュアップ研修を3回予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり1回の実施になっている。シルバーリハビリ体操全国オンラインフェスティバルに関しては、地域包括ケアで取りまとめさせて頂いている。

職能局としてオンラインでの参加人数が少なく、今年度は計画外でオンデマンド配信を検討いく。

東部ブロック（櫻場）：ブロック全体会議を1回行っている。エリア会議を4回行っている。検討していた研修会は回数を減らしている。交流会や啓発活動に関しては実施できていない。

北エリア（飯塚）：新型コロナウイルス感染症のため研修会は1回の開催になっている。研修会・症例検討会はオンラインで実施している。

中央（代読櫻場）：研修会2回実施しているが参加人数が少なかった。交流会と啓発活動に関しては未開催になっている。

南エリア（代読櫻場）：研修会は2回実施しているが参加人数が少なかった。

西部ブロック（吉川）：運営会議を6回、運営会の準備として会議を4回実施している。公開講座に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり中止になっている。

川越エリア（原）：オンラインで研修会を1回と症例検討会を2回に分けて実施している。

秩父エリア（代読吉川）：研修会をオンラインで1回と運営会議は4回実施している。

三芳エリア（代読吉川）：オンラインでの研修会1回と運営会議を4回実施している。

所沢エリア（長島）：症例検討会を2回に分けて実施している。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、研修会は行えていない。

南部ブロック（高宮）：ブロック全体として対面で実施していたものをオンラインに切り替えて実施している。

南エリア（吉田）：オンラインにて研修会を4回実施している。最初は参加人数が少なかったが徐々に参加人数は増えていた。症例検討会と公開講座に関しては新型コロナウイルス感染症のため中止になっている。

さいたまエリア（宇野）：企画していた事業を1つ中止になっているが、他はオンラインで事業を行っている。

県央エリア（代読高宮）：オンラインで研修会を2回と症例研修会を1回実施している。交流会は1つ中止になっているが、1つ実施している。

北部ブロック（田澤）：新型コロナウイルスのため、運営会議などの回数が少なかったのが課題になっている。

熊谷エリア（飛田）：市町村会議や研修会はオンラインで実施している。

東松山エリア（大沼）：オンラインでの研修会を1回実施している。今年度9月に公開講座を予定している。

坂戸エリア（田方）：オンラインで市町村介護を1回、研修会を3回実施している。

深谷・本庄エリア（斉藤）：オンラインで研修会を2回実施している。

委員会

ブロック連絡委員会（岡持）：昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、事業がオンライン主体になっている。そのオンラインのホストを務めるための資料作りを行っている。資料に関しては、動画にしているため活用して頂ければと思う。県・市長村の活動に向けた情報共有は引き続き行っている。自民党の県議団に対して要望書の作成を三役と連盟の役員の方と集まり行っている。

財政基盤検討委員会（山田）：昨年度は委員会をオンラインで実施している。

表彰委員会（代読水田）：各賞の推薦にあたり資料の取りまとめを行っている。埼玉県理学療法士会表彰規定に基づく功労賞は、桑原氏、宮田氏、新井氏、西尾氏に決まっている。

組織検討委員会（塚田）：新分野開拓委員会と連携して装具療法地域連携委員会・学校保健・特別支援教育推進委員会・新型コロナウイルス感染症のおける在り方検討委員会の設置を行った。

運営基盤検討委員会（南本）：重点項目・年間計画を三役で集まりながら検討し、理事会へ提出している。

選挙管理委員会（山田）：委員長が変更になっている。役員候補者選挙（増員分）を令和2年5月10日にWedで実施している。

第42回関東甲信越ブロック理学療法士準備委員会（水田）：第39回関東甲信越ブロック理学療法士学会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になっている。埼玉県を担当は第41回関東甲信越ブロック理学療法士から第42回に変更になっている。そのため、昨年度準備委員会は開催せず、学会組織作りのみ行っている。

創立50周年記念式典準備委員会（塚田）：40周年記念の資料の確認や会場の調査を行っている。

国際スポーツ競技委員会（遠藤）：昨年度関連の事業は全て中止になっている。研修会は感染予防策及び実際の現場対応について1回行っている。今年度はオリンピック開催を前提として準備を行っている。

埼玉県理学療法学会評議委員会（矢野）：オンラインで例年通り行っている。

第29回埼玉県理学療法士学会準備委員会（代読田口）：今年度の学会はオンラインで行っている。参加者に関しては918名であるが、リモートでと考えると良い結果だと考えている。演題数に関しては例年よりも多かった。

第30回埼玉理学療法準備委員会（代読田口）：今回に関してオンラインで考えている。

専門性委員会

がんリハビリテーション推進委員会（代読乙戸）：事業の多くが中止になっている。研修会はオンラインで1回行っている。

糖尿病対策委員会（万行）：オンラインで委員会を3回行っている。実行委員会は1月19日にwedで行っている。

職能委員会

新分野開拓委員会（田口）：今年度から学校保健・特別支援教育推進委員会と装具療法地域連携対策委員会が設立している。神経難病リハビリテーション推進委員会の申請があり、理事会に審議をかけている。

訪問リハビリテーション復興委員会（石動）：委員長が変更になっている。Basic コースは中止、ADVANCE コースに関してはオンラインで行っている。今後は運営方法の検討をしていきたいと思う。今年度に関しては、理学療法士単独での事業も進めている。

災害対策委員会（菊地）：今年度はBasic コース2回、ADVANCE コース1回をオンラインにて実施している。研修会を分かりやすく実施するために動画作成をしている。また、Facebook と YouTube で PR 動画も作成している。また、研修会の予告動画を作成しながらメールで配信している。

職業倫理委員会（水田）：会員の職業倫理違反についての情報収集・共有を行っている。

10 年度の理学療法を考える委員会（代読渡邊）：運営の会議を2回実施している。議員連盟所属議員の国政報告会への参加を8回行っている。

新型コロナウイルス感染症におけるあり方の検討委員会（渡邊）：令和2年12月16日～令和3年1月6日にオンデマンド配信を行っている。

質疑応答がなかったため、議決に入った。

令和2年度事業報告について審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

【決算報告】

議長の求めに応じ本宮から令和2年度決算報告について本宮財務局長より決算書に基づき説明があった。

南本：感染症の影響もあり、会場費などがなかったため例年と比べて少なくなっている。今年度はどのようにして事業を行っていくのかの検討が必要になる。

質疑応答がなかったため、審議に入った。

令和2年度決算報告について審議結果、出席理事全員一致で承認された。

<計画外審議>

議長の求めに応じて水田事務局長から資料に基づき「第30回の理学療法学会の参加費について」説明があった。

田口：他県士会の会員については例年通りでよいと考える。学生に関してはどのようにしていくのか。学生は無料で良いと考える。無料にする事でキャンセルが増えと懸念されると思う。

南本：無料の方のキャンセル人数の把握はできているか。

田口：できていない。

南本：5年目以下を無料にした際にはキャンセルは少なかった。

渡邊：30回に限りか。それとも今後も無料にするのか。

水田：30回に限る。

南本：無料にする事でキャンセルが懸念されるが、多くの方に参加する機会を作るのは良いと思う。学生に関しては県内・県外に関わらず無料にするのは良いと思う。その学生達が埼玉県で働いて頂く事を目標にしてもらえればと思う。

質疑応答がなかったので審議に入った。

令和2年度決算報告について審議結果、出席理事全員で承認された。

<報告事項>

- ・令和2年度監査報告について清宮監事より監査報告書に基づき説明があった。
- ・LINEWORKS 審議について事務局より報告があった。
- ・研修会中止規定について

水田：研修会中止に関して規定を作ったほうが良いとなったので調べてみた。細かい規定に関しては個人の判断で決める事ができなかったため弁護士と相談が必要だと思っている。そのため顧問弁護士と契約するのがよいと考えている。何かご意見頂ければと思う。

南本：弁護士のチェックはいろいろな企業で行っている。1件あたりいくらか年間いくらか種類がある。最後は法的な確認が必要になると思う。弁護士の方にも言われると思うが、訴訟になった場合のアドバイスも皆様にお伝えできればと思う。事業度毎に弁護士に頼むのか顧問契約をするのかどちらが安いのかなども皆様と確認しながら規定を作っていければと思う。また、皆さまに相談させて頂き決定をしたいと思う。規定に関してはどこかに記載していますか。

水田：規定については LINEWORKS にて発信する。会員の人に関してはこの規約について同意した中で参加して頂く形で進めて頂ければと思う。いろいろとルールもあると思うので意見を頂ければと思う。

<その他報告事項>

「新人教育プログラム」について

田口：PT 協会から新人教育プログラムの履修・終了状況の連絡が届いた。新人教育部と赤坂教育局長と情報共有をしている。来年度以降は新生涯学習システムが導入される。埼玉県の新人教育プログラムの終了率は全国でワースト3位であった。終了率は約52%である。県士会会員の半数が新人教育プログラムを終了していない状況である。すぐに専門・登録の理学療法士になれない人がいるため、来年登録理学療法士になる方は半数以下の状況である。(予想は30%程度)6年目以上の方は特に今年度は、e-ランニングで取得する事ができるのでできれば取得して頂ければと思う。各ブロック・エリアの方達は、管轄する所に情報共有して頂ければと思う。e-ラー

ニングに関しては、1年目は無料に受講できるが、2年目以上になると有料になってしまうため
ご了承頂ければと思う。

南本：全国でワースト3位になっているので、皆様方にもお声掛けして頂ければと思う。県士会とし
ても重要事項と考えている。今後何かしらの取り組みをしていかないといけないと思う。その他
で連絡事項や報告事項などあればお願いしたい。

装具療法地域連携委員会・学校保健・特別支援教育推進委員会委員長より

中野：今年度から装具療法地域連携対策委員会の活動が開始になる。年4回研修会も検討している。

大隈：この事業は、介護保険事業の子供版のイメージで考えて頂ければと思う。初年度に関しては、
会員の方への周知や外部の情報収集を行っていききたい。

財務局より

本宮：LINEWORKS 出席調査に今年度の会計報告についてあげているのでご確認願いたい。

職能委員会担当より

渡邊：昨年度は事業がオンラインで行っていると思うが、今年度は医療従事者のワクチン接種が進ん
でいる中で対療法士の研修を今後どのような感染対策を行っていく必要があるのか。2回接種し
た方への感染対策を厳重に行う必要があるのか。受講者が全員ワクチン接種をしているとは限
らないと思うが、感染対策について協会としては stage 分類はやめている。各協会独自に行う
形になっている。ご意見があれば頂きたい。

南本：現在は医療法人でワクチン接種が進んでいる。介護事業・教育現場に関しては、ワクチン接種
は進んでいない。現段階では判断が難しい。今後様子を見ながら検討する必要があると思う。

阿久澤：ワクチンに関しては、取り扱いは慎重にしないといけないと思う。ワクチン接種は義務では
ないので、接種しているのかいないのかで差別化できないと思う。あくまでも世間の状態に寄せ
ないといけないと考える。研修でワクチン接種をしている方だけを対象に活動は難しいと思う。

南本：PT にとって対面形式での研修会は重要である。そこをどのように再開していくのか検討が必要
になってくる。昨年度と別にコロナ渦における県士会のあり方が重要になる。いろいろな意見
があれば聴取していききたい。臨床実習指導者講習会についてもネットで行える様になってくる
よう変わってくるようなので準備を進めていききたいと思う。

田口：PT 協会からの情報で自習生の受け入れに関しては PCR・ワクチン接種は義務化しないように
との通達があった。今後皆様にもこの情報は提供しようかと思う。

会計報告について

茄子川：会計の件で質問です。事業計画で予算立てをしているが、事業報告は勘定報告に統一して報
告していくという流れの考えだと思う。事業を終了時に出納部に報告をして勘定して頂く形
になっているが勘定項目が異なっている報告があるようだ。その対応がどのようにしていけ
ば良いかと質問が挙がっている。お時間あるときに回答を頂きたい。

南本：8月に集まって会計研修会を行うようになると思う。その時にお話しできればと思う。

以上をもって議案の審議等を終了したので、21時8分、議長は閉会を宣し、解散した。
この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

会長 _____ 印

監事 _____ 印

監事 _____ 印